

公開講演会 最新化学談話シリーズ

令和元年度 第4回談話会
深部地下環境の天然有機物

齊藤 拓巳 准教授

(東京大学大学院工学系研究科 原子力専攻)

主催 九州大学理学部化学教室談話会

日時：令和元年11月 5日 (火) 午後4時より

場所：九州大学理学部化学科 W1-B-315 講義室

(伊都キャンパス ウエスト1号館3階315号室)

内容：高レベル放射性廃棄物の地層処分では、廃棄体であるガラス固化体を人工バリアと共に、地下300 m以深に埋設することが計画されている。処分の長期安全性には、人工バリアの機能に加えて、周囲の地下環境が有するバリア機能が重要になる。本講演では、深部地下環境において、放射性核種の動態に影響を及ぼしうる天然有機物(NOM)について、その物理化学的特徴や金属イオンとの錯生成を、表層のNOMとの比較を通して、紹介する。

(注)この講演は大学院集中講義の一部です。

連絡先：九州大学大学院理学研究院化学部門

(世話人) 宇都宮 (092)802-4168

(事務局) 化学部門等事務室：TEL (092)802-4125